

「全自衛隊少林寺拳法連盟で活躍する女性拳士たち ②」

護身の技術を修行することを通じて自己の変化や達成感を味わい、自信をつけることによって、職場や地域社会をリードしていく人間を育てるという少林寺拳法。防衛省・自衛隊において少林寺拳法の普及・振興等を担う全自衛隊少林寺拳法連盟で活躍する女性拳士を連載しています。

第2回は、防衛省少林寺拳法部 小田 遥さん。

Q 少林寺拳法を始めたきっかけは？

ジャッキー・チェンに憧れたからです。何か武道をやりたいと思ったところ、近所に北新スポーツ少年団（北海道千歳市、倉本浩司先生）があり、見学に行ったその日に入会を決めました。

Q 防衛省少林寺拳法部の雰囲気は？

当部では毎日お昼休みと週に一回夜に練習しています。業務が多忙で練習する時間はないとしても、ふと息抜きにみんなの顔を見に来る部員もいます。その仲間で成功させた一番の思い出は、今年1月末に行われた、第40回全自衛隊少林寺拳法大会（防衛省市ヶ谷体育館）です。節目の大会であり、中央での開催ということもあって、多くの自衛官拳士が全国各地から参加しました。大会運営は予想以上の大変さでしたが、部員みんなが団結・協力して運営し、大会は大成功に終わり、自分も最優秀賞を取ることができ、とても素晴らしい結果でした。

Q 全自衛隊少林寺拳法連盟の良さは？

年に一度の全自衛隊大会でしか顔を合わせない拳士でも、協力して会場設営をしたり、団結力が高いところ。また、全自衛隊連盟を盛り上げようと努力している先輩拳士たちを見ていると元気が出てきます。

Q 今後の目標は？

自衛隊の中の女性拳士達が集まり、大会で団体演武をやってみたいです。女性拳士数は少ないため、そのような取組を通じて女性拳士を増やしたいです。

全自衛隊少林寺拳法連盟について

全自衛隊少林寺拳法連盟（会長 大越康弘 元防衛研究所所長）は、防衛省・自衛隊において少林寺拳法の普及・振興を図るとともに、関係団体の融和、親睦等を図ることを目的として一般財団法人少林寺拳法連盟に認められた団体である。現在、全国の基地・駐屯地に18の少林寺拳法部があり、約170名の

拳士が活動している。少林寺拳法部がない基地・駐屯地の隊員でも、全自衛隊少林寺拳法部に所属することによって、昇段や大会への出場などが可能という。また、毎年一回、持ち回りで全国の基地・駐屯地において全自衛隊大会を開催しているのも特徴の一つ。(問合せ先：全自衛隊少林寺拳法連盟事務局長 生形良隆 08013643382)



撮影 有限会社プラズマ 谷津栄紀

